



伝統受け継ぐ若い力に期待

こども芸術発表会—舞台部門—



息ぴったりの田おこし作業の演舞

こども芸術発表会・舞台部門（市文化遺産活用実行委員会主催）が1月12日、市文化会館（Zホール）で開催されました。日ごろから郷土芸能や伝統文化の習得に取り組む市内7団体、約80人が練習の成果を発表。詰め掛けた観客から、演目が終わるたびに大きな歓声と拍手が送られました。

田植え踊りを披露した前沢区の白山小学校は平成3年からその年の3年生が百姓踊りに取り組んでいます。舞台では田植えの準備から収穫まで12ある農作業の様子を踊りで表現。「見ている人に喜んでもらえるよう踊りたい」と精一杯に演舞しました。客席からは、場面が変わるたびに笑いや手拍子、懐かしむような歓声が飛び交っていました。

祭り成功に向けて本格始動

前沢区

前沢・猛威天殊会祭典事務所開き

平成25年奥州前沢42歳厄年連「もういてんしゅかい猛威天殊会」（菅原典彦会長、会員数207人）の祭典事務所開きが1月12日、関係者など約80人が出席し、前沢区字七日町地内の同事務所で行われました。

神事に続き、前年42歳厄年連の石田博幸祭典実行委員委員長から代々受け継がれてきた看板を引き渡された卓地茂樹祭典実行委員長は「伝統のある看板を先輩から引き継ぎ、身の引き締まる思い。会員一同、力を合わせてがんばりたい」と決意を新たにしました。

伝統の看板を引き継ぎ固い握手



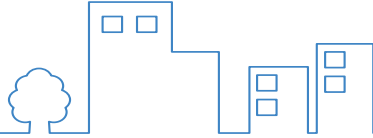
打ったそばを丁寧に細切り

胆沢区

苦勞して作ったそばは格別

おやじの料理教室

おやじの料理教室（若柳地区振興会主催）が1月28日、若柳地区センターを会場に開催されました。この講座は、中高年を対象に料理の腕を身に付けてもらおうと企画されたもので、今回が2回目の開催。この日集まった受講者14人は、講師の指導を受けながらそば粉と水を合わせ、よく練ってそばを作りました。最後に茹で上げて「かけそば」が完成。それぞれ自ら作ったものと講師の作ったものを食べ比べ、その味に一喜一憂していました。



無病息災と五穀豊穰を祈念

衣川区

毛越寺二十日夜祭に衣川講中が参加

毛越寺二十日夜祭に向けた衣川講中の献膳行列が大寒の1月20日、衣川区の古戸商店街と瀬原で行われました。同祭は800年以上の歴史があり、衣川講中は5つの講中の一つ。42歳の厄年を迎える男衆など約60人がたいまつを手練り歩きました。

同級生5人と参加した同区本巻の菅原和宏さん(41)は「伝統のあるこのお祭りに参加できて良かった。ことし一年、健康で過ごせるように祈りたい」と火の粉を散らしながら毛越寺を目指していました。

下帯姿でたいまつをぶつけ合う男衆



歳戸木の上で声を上げる男衆

江刺区

厳寒に男衆の祈りと炎熱く

伊手熊野神社蘇民祭

伊手熊野神社蘇民祭が1月19日夜から翌未明にかけて、同神社境内で開催されました。年祝連など約50人が参加し、無病息災や五穀豊穰を祈願しました。

同祭は400年以上の歴史があり、目玉の「火たき登り」では、丸太を組んだ高さ約3mの歳戸木の上に下帯姿の男衆が次々と上がり、火の粉と煙を浴びて身を清めました。クライマックスの「蘇民袋争奪戦」では、一般の参加者も飛び入りで参加。もみ合いながら神社の外まで進み、蘇民袋を奪い合いました。

足利区

軽快に雪上を滑走して笑顔

モービルトレインに乗ろう

モービルトレインを体験するイベントが1月13日、ひめかゆスキー場を会場に開催されました。これは、雪の楽しさを知ってもらおうと同スキー場が企画したもので、市内外から集まった親子など約100人が、順番待ちで長蛇の列をなしました。快晴にまばゆい光を放つコースをスノーモービルが周回。豪快に走るスノーモービルに連結された浮き輪状のチューブそりに乗った参加者は、スリルいっぱいの動きを体験し、歓声を上げながら楽しんでいました。

予想外の動きはスリル満点



われ先にとかるたに飛び込む子どもたち

水沢区

冷たい雪上でも負けないぞ

第25回黒石親子ジャンボかるた大会

黒石小学校区子ども会育成会連合会(後藤一也会長)や黒石地区センター(菅原正センター長)などが主催する「第25回黒石親子ジャンボかるた大会」が1月13日、黒石小学校校庭で開催されました。

この日は天候にも恵まれ、児童約30人とその保護者などが参加。学年別などの競技が行われました。読み上げられると、かるたを目指し一斉にスタート。かるたを見つけようと寒さをもとめせず駆け回り、われ先にと大きなかるたに飛び込んでいました。